

第8次地域保健医療計画「へき地医療」指標

№	アウトカム	指標名	定義	調査名	調査年	単位	新潟県		(参考) 二次医療圏						(参考) 全国		
							目標値 (R1)	現状値	下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越		佐渡	
A	1	へき地に暮らす住民が必要に応じ適切な医療を受けながら住み慣れた地域で生活することができる	へき地診療所数	調査で回答のあったへき地診療所の数	へき地医療現況調査	令和4年度	増加	28									
		へき地医療拠点病院数	調査で回答のあったへき地医療拠点病院の数	へき地医療現況調査	令和4年度	増加	7										
B	1	へき地の住民が一般的な医療(外来診療や在宅医療等)を受けることができる	巡回診療が行われているへき地の割合	巡回診療の「実施回数」が0超であるへき地の割合	無医地区調査	令和4年度	%	増加	20.8%								
		へき地の住民が必要に応じ専門医療(注1)を受けられることができる	最寄り病院又は診療所において専門医療(注1)の診療が可能であるへき地の割合	最寄り病院又は診療所の実施診療科に「内科」又は「総合診療科」以外があるへき地の割合	無医地区調査	令和4年度	%	増加	68.8%								
		緊急を要する場合、救急医療を受けることができる	最寄り病院が24時間連絡体制をもつへき地の割合	最寄り病院又は診療所において、24時間連絡を受け付ける体制があるへき地の割合	独自調査		%	増加	独自調査								
	2	へき地の住民が保健指導等を受け、健康管理をすることができる	へき地住民の健康診断受診率	健康診断の「受診者延数」を当該無医地区等の人口総数で除する数	無医地区調査	令和4年度	%	増加	42.0%								
		3	へき地住民が住み慣れた地域で高齢者福祉を受けられている	-	-	-	-	-	-								
C	1	へき地において巡回診療等を実施する医療機関が整備されている	へき地診療所数(再掲)	調査で回答のあったへき地診療所の数	へき地医療現況調査	令和4年度	増加	28									
			へき地医療拠点病院数(再掲)	調査で回答のあったへき地医療拠点病院の数	へき地医療現況調査	令和4年度	増加	7									
	2	へき地診療所等におけるオンラインでの診療など、効果的なICTの活用によりへき地での医療提供体制が確保できている	へき地診療所のへき地住民に対するオンライン診療の活用「有」の割合	調査項目「ICTによるへき地医療の診療支援の活用状況」で「活用有」の診療所の割合	へき地医療現況調査	令和4年度	%	増加	14.3%								
			へき地医療拠点病院のICTによるへき地診療所等への診療支援実績「有」の割合	調査項目「ICTによるへき地医療の診療支援の実施状況」で「活用有」の拠点病院の割合	へき地医療現況調査	令和4年度	%	増加	57.1%								

第8次地域保健医療計画「へき地医療」指標

№	アウトカム	指標名	定義	調査名	調査年	単位	新潟県		(参考) 二次医療圏						(参考) 全国		
							目標値 (R11)	現状値	下越	新潟	奥上	中越	魚沼	上越		佐渡	
6	へき地において医療を提供する医療従事者が確保されている	総合的な診療能力を有する医師を養成する事業「有」のへき地医療拠点病院の割合	調査項目「総合的な診療能力を有する医師を養成する事業の有無」について「有」の拠点病院の割合	へき地医療現況調査	令和4年度	%	増加	14.3%									
		へき地診療所・拠点病院の医師、看護師のうち訪問診療・訪問看護・巡回診療に携わる者の数及び割合		独自調査、現況調査		%	増加										
7	医療や福祉を受けるための住民の交通手段が確保されている	へき地患者輸送車輸送が実施されているへき地の割合	患者輸送の「運行日数(日/週)」が0超の無医地区等の割合	無医地区調査	令和4年度	%	増加	45.8%									
8	へき地医療に対する行政による適切な支援が実施されている	へき地医療WGの開催回数		独自調査	令和4年度	回	増加	0									
		地域医療対策協議会の開催回数		独自調査	令和4年度	回	増加	3									
9	・へき地において、地域住民への保健指導の実施体制が確保されている ・保健指導の参加状況を保険者において把握できている	健康相談・健康教育の実施体制「有」のへき地の割合	「健康相談」の実施回数が0超であるへき地の割合	無医地区調査	令和4年度	%	増加	31.3%									
			「健康教育」の実施回数が0超であるへき地の割合	無医地区調査	令和4年度	%	増加	35.4%									
		健康診断の実施体制「有」のへき地の割合	「健康診断」の実施回数が0超であるへき地の割合	無医地区調査	令和4年度	%	増加	16.7%									
10	次の事項が達成できている ・高齢者の自立した日常生活に向けた支援 ・住み慣れた地域で安心して生活できる体制の構築 ・在宅医療・介護連携の推進 ・認知症の人やその家族を支える共生と予防の取組 ・介護人材等の確保・定着及び介護現場の業務効率化	-	-	-	-	-	-										

(注1) 専門医療：日本専門医機構の専門医制度で認定されている19の基本領域のうち、内科及び総合診療科以外の診療科を指すものとする。

(注2) ウォークインも含めた応需率=受入数/要請数

①要請数(個人)=当直日誌の取扱患者の個人の数(a)+各科外来での救急対応リストの個人の拒否件数(b)
②要請数(救急車)=救急搬送連絡票の枚数(c)+各科外来での救急対応リストの救急車の拒否件数(d)

①に係る応需率=a/(a+b)

②に係る応需率=c/(c+d)